

えびなの教育

発行 年2回・6,000部
※教職員及び児童生徒はLINE配信します。
編集・発行 海老名市教育委員会
〒243-0422 海老名市中新田377
☎046(235)4916 FAX046(231)0277



市のホームページはこちら

海老名市教育委員会の目標
「誰ひとり取り残さない教育」

令和6年12月14日付けで藤吉 ひとみ氏が教育委員に任命されました。
任期は、令和10年12月13日までの4年間です。

教育長あいさつ

～ みんなが集う学校 ～

4月、桜のもとでの新学期がはじまり、ひと月が経ちました。
ご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょうか。楽しく学校に通っているでしょうか、不安や心配の具合はどうでしょうか。何かありましたら、遠慮なく、気軽に、教育委員会にご相談ください。よろしくお願いします。

さて、昨年度から、海老名市では「フルインクルーシブ教育」に取り組んでいます。

私は、教員として、学校に勤めていた学校人です。学校はキライでしたが、子どもたちと過ごす学校の時間が好きでした。みんなで学習すること、遊ぶこと、生活することは、そのこと自体が子どもの成長には価値のあることだと実感していました。

だから、素直に、すべての子どもが集うことができる学校づくりを進めたいと考えて、海老名市としてフルインクルーシブ教育に取り組むことを判断しました。

このことについては、今年度、昨年度に引き続き、さらに、保護者や市民のみなさん、子どもたちとの対話の場を広げて、みなさんの思いや考えを聞きたい、みなさんと話し合いたいと考えますので、よろしくお願いします。

私は、海老名市立小中学校を「みんなが集う学校」にしたい、そのための学校づくりを進めます。

海老名市教育委員会公式
Instagram です。
フォローをお願いします。



教育委員からのメッセージ

【委員ご紹介】 藤吉氏は海老名市杉久保の生まれで、3人の娘さんを育てながら小学校の教頭・校長を歴任し、学校現場に38年間勤められました。退職後は、学校応援団や、人権擁護委員など幅広く活躍されています。



ふじよし
藤吉 ひとみ 氏

「生きているから悲しいんだ」が1番の歌詞、「生きているからうれしいんだ」が2番の歌詞。
やなせたかしさんが「手のひらを太陽に」の歌詞を書いたのは1961年42歳の時。

戦争体験や漫画家としても晩成だったことが影響しているようで、悲しいと感じられるのも生きていればこそ。乗り越えた先にはきっとうれしさがある。詩人でもあったやなせさんは、その順番にこだったそうです。また弟さんは特攻隊で命を落としたそうです。「正義」のために死ぬ意味とは。そして今生きる意味とは。

70歳近くになり「アンパンマン」がようやく世に認められました。バイキンマンとだって理解しあえる。困っている人に食べ物を分け与えることは「正義」と信じる。テーマ曲も「そうだ うれしいんだ 生きるよろこび」と明るく始まり、「なんのために生まれて なにをして生きるのか」と問いかける。明るく軽快なリズムですが、歌詞の内容は深いです。

私の孫もアンパンマンが好きです。アンパンマンを見て育った海老名の子どもたち一人ひとりが、生きる喜びを感じられる毎日であることを願い、微力ではありますが活動していきたいと思います。

令和7年度 教育委員会予算について

教育委員会全体予算 71 億 1,763 万円

教育総務課	28 億 9,695 万円(繰越含む。)	(繰越含む。)
主な予算	学校の維持管理に関するもの	4億 7,616 万円
	学校の施設整備に関するもの	22 億 9,405 万円 (繰越含む。)
	文化財保護に関するもの	5,162 万円
就学支援課	18 億 6,673 万円	
主な予算	学校給食に関するもの	7億 28 万円
	教材費支援に関するもの	1億 6,006 万円
	スクールライフサポートに関するもの	9,292 万円
教育支援課	10 億 7,938 万円	
主な予算	インクルーシブ教育に関するもの	1億 9,337 万円
	外国語教育に関するもの	7,312 万円
	ICT教育に関するもの	4億 9,994 万円
学び支援課	12 億 7,457 万円	
主な予算	図書館に関するもの	4億 7,916 万円
	社会教育に関するもの	7億 9,541 万円
	(学童保育支援、ライフ・スタディサポート、二十歳の祝典 等)	

小中学校施設整備事業費
(繰越含む。)
22 億 9,405 万円

令和7年度中に体育館へのエアコン設置が完成します

中新田小学校校舎の雨漏れや外壁の老朽化を防ぐため、外装改修工事を実施しました。新しい校舎の色彩は、児童の投票によって決めました。

また、小中学校の体育館では、壁・床・吊下げ式バスケットゴールの電動化などの改修工事やエアコンの設置を順次進めており、令和7年度中に全ての学校の体育館にエアコンを設置します。

今後も、児童生徒が安全安心に学校生活を送ることができるよう、計画的に整備を進めていきます。

【体育館エアコン設置状況】

設置済	令和7年度設置予定	
柏ヶ谷小学校	海老名小学校	今泉小学校
大谷小学校	有鹿小学校	杉本小学校
上星小学校	有馬小学校	有馬中学校
中新田小学校	東柏ヶ谷小学校	海西中学校
門沢橋小学校	社家小学校	大谷中学校
海老名中学校	杉久保小学校	今泉中学校
柏ヶ谷中学校		

【お問い合わせ】教育総務課 施設係 046-235-4917



【整備を終えた中新田小学校校舎】



【整備を終えた大谷小学校体育館】

「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」を定めました

保護者が負担する経費について、保護者、民生委員、教職員、教育委員会で構成する「海老名市立学校における保護者負担経費の在り方検討委員会」で検討いただき、令和7年1月22日付けで市教育委員会に提言が提出されました。

市教育委員会ではこの提言を受けて、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」を制定しました。今後、この方針に基づき、保護者の負担軽減に関する施策を実施します。

【主な方針の内容】

標準服(夏服) 利用状況を踏まえ、在り方を検討します。

教材費無償化 教材の価格動向等を踏まえ、学校が選定した教材を過不足なく購入できる上限額を引き上げました。【公費負担：1億5,962万円（私学教材補助込み）】

給食費補助 物価高騰等が学校給食費に影響しないよう今年度も補助します。
【公費負担（一人あたり）：小学生7,400円、中学生9,000円の補助】



【お問い合わせ】 就学支援課 就学支援係 046-235-4918

インクルーシブ教育
推進事業費
2,185万円
(教室環境整備)

フルインクルーシブ教育の推進により教室環境が変わります

海老名市では、「すべてのこどもたちが、小学校・中学校でともに学び、ともに育つ環境の実現」に向けて、フルインクルーシブ教育を推進しています。

その推進ビジョンとして4つの柱、「みんなでめざす（インクルージョンの意識醸成）」、「みんなで支える（校内支援体制等の充実によりこどもを支える）」、「みんなで見直す（現状と制度の見直し）」、「みんなで整える（学校・教室環境等の整備）」を定めました。 ※詳細は市ホームページ参照

令和7年度は、4つ目の柱「みんなで整える」の取組として、すべてのこどもが安心して学ぶことができる環境を整えるため、全小学校の教室に目盛付デジタル時計を、小学校1年生と支援学級の教室にフロアマットを、全中学校の心の教室等にパーテーションを設置します。

この教室環境整備をはじめとして、今後も学校や保護者、地域の皆様方と対話を重ねながら、フルインクルーシブ教育をさらに推進していきます。

目盛付デジタル時計



フロアマット



パーテーション



【お問い合わせ】 教育支援課 支援係 046-234-8764

こどもと学校を応援し、 学校・家庭・地域をつなぐ「学校応援団」

学校応援団は、学校・家庭・地域をつなぐ役割を果たす市内13校の小学校に設置された組織です。

地域の方や保護者の方が運営委員となり、学校と地域の調整役として、学校がこどもを含め地域の皆様にとっても、しあわせの拠点となるよう応援しています。こどもたちの学びや体験を充実させる学校応援団の取組に、ぜひご理解とご協力をお願いします。



【お問い合わせ】 学び支援課 学び支援係 046-235-4926

子育ての不安は、「えびりーぶ」に お気軽にご相談を！

海老名市教育支援センター「えびりーぶ」では、心理の専門家による教育相談等の支援をしています。子育ての不安等、お気軽にご相談ください。

【海老名市教育支援センター「えびりーぶ」】

相談ダイヤル: 046-234-8700

受付時間 平日 9:00~16:30・土曜 9:00~11:30
※日曜・祝日は除く

また、子育てに困難を抱えている場合に、市内の児童保育クラブでの一時預かりも行っていますので、まずはご相談ください。

【お問い合わせ】 教育支援課 支援係 046-234-8764

令和7年度「えびな郷土芸能祭」開催

海老名に伝わる郷土芸能が一堂に会する2年に一度のイベントです。歌舞伎、ささら踊り、お囃子などが日ごろ磨いてきた技を披露します。



△海老名ささら踊り保存会
△大谷歌舞伎

△今里はやし保存会(令和5年度)

日時: 令和7年10月25日(土) 10時~16時
場所: 海老名市文化会館 大ホール

【お問い合わせ】 教育総務課 文化財係 046-235-4925

海老名町と有馬村 合併から70年

昭和30年7月20日に海老名町と有馬村が合併し、新たな海老名町が誕生しました。合併から70年を記念して歴史資料収蔵館でミニ展示を行います。

▽当時の社家駅周辺の蒸気機関車



▽昭和30年海老名町初代町議会議員
※現在の郷土資料館(温故館)前



日時: 令和7年7月18日(金)~9月28日(日) 9時~17時
場所: 歴史資料収蔵館(河原口2-27-3) ※月・火休館

【お問い合わせ】 教育総務課 文化財係 046-235-4925

ご寄付ありがとうございます

寄付者	寄付内容	数量	寄付財産の活用先
有限会社富塚商事	合格豆腐	1,122丁	市立中学3年生
株式会社MOTTERU 代表取締役 櫻田 良太 様	スマートフォンスタンド	1,142個	市立中学3年生
一般社団法人 グランファミリア 代表理事 井戸 光次朗 様	救急セット一式	1,220個	令和7年度・市立小学1年生
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 バンディング神奈川中央支店 狩野 定夫 様	寄付金	300,000円	海老名市中学校吹奏楽部演奏会開催
SOMPOケア株式会社 代表取締役社長 鷲見 隆充 様	介護を学ぶ学習まんが「大研究! 笑顔をつなぐ! 介護の仕事」	16冊	市内小学校・市立図書館・市役所
新発田盛綱会 会長 伊藤 喜行 様	書籍「佐々木盛綱」	2冊	市立図書館
平塚信用金庫 理事長 尾上 達也 様	児童用図書	54冊	市立図書館
恵川 侑奈 様	四六判 四つ切り色画用紙	619枚	つくってあそぼうや各小学校のあそびっ子クラブの活動